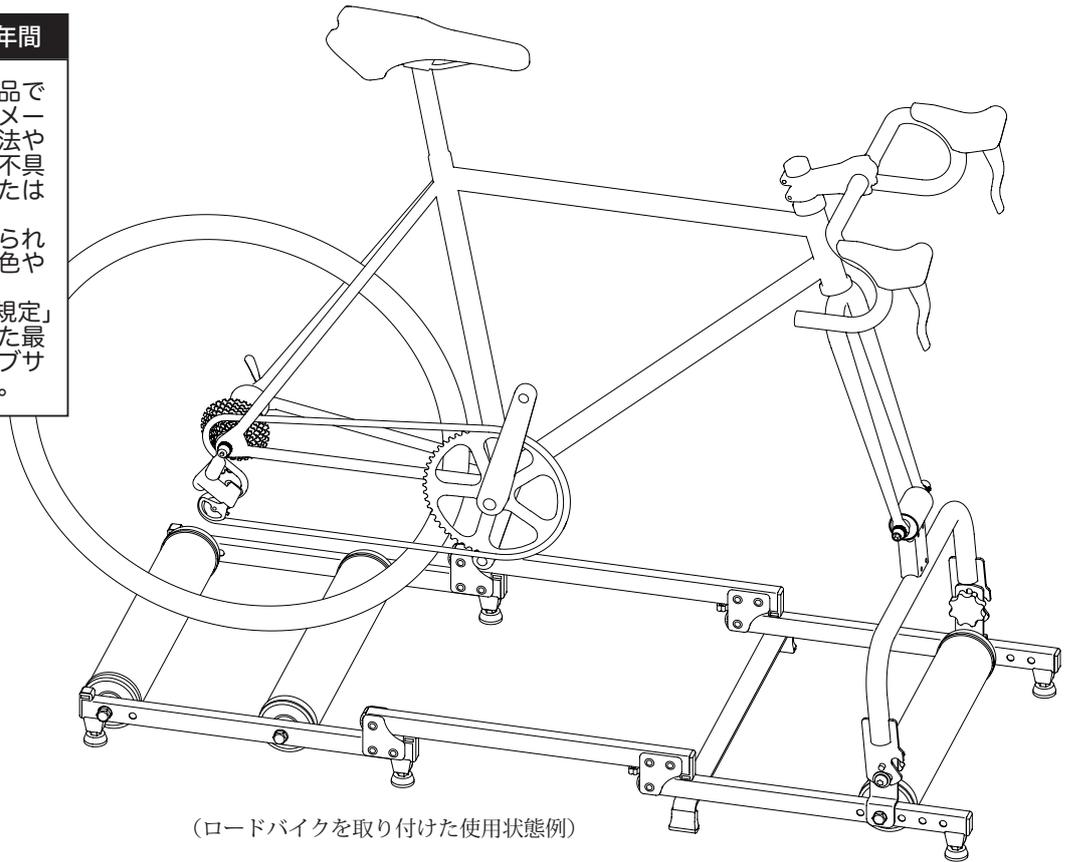


## 品質保証期間：ご購入後1年間

弊社は、本商品を最初に新品で購入されたユーザーに限り、メーカー側に瑕疵のある製造方法や素材選定などが原因となる不具合に対して、無償の修理または部品の交換を行いません。なおこの保証には通常考えられる経年劣化や自然摩耗、退色やサビなどは含まれません。詳しくは添付の「製品保証規定」カードをご覧ください。また最新情報については弊社ウェブサイトをご参照ください。



(ロードバイクを取り付けた使用状態例)

## フォークスタンドとは

- 前輪を取り外した前フォークで自転車を支えるもので、3本ローラーにまだ慣れていない初心者でも、難しい自力でのバランス取りを行なわなくても、簡単に跨がって楽にトレーニングできるようになります。
- 固定式トレーナーよりも後輪タイヤのローラーへの当たりがやわらかく摩耗が少ないことを利用して、PC画面などを見ながら長時間トレーニングを行ないたいとき、疲れてきてバランスを取りきれずに転倒・落車の危険がある3本ローラーでも、安全安心にトレーニングを続けられる備品としても活用できます。
- 前フォークは完全固定ではなく、フローティング構造として樹脂部品を利用してある程度のクッション性を持たせて保持していますから、本商品を使用することで前フォークが破損するというような心配は無用です。
- 3本ローラーに慣れてきて自力でバランスが取れるようになり自転車を支えることが不要になってきたら、フォークスタンドはいちいち取り外すことなく、簡単な操作で前に倒して邪魔にならない位置に退避させることができます。このときノブボルトが前輪ガードの役目を果たします。

## お問い合わせ先

組み立て方や使い方についてのご質問は、まず最初にこの商品を購入したショップにお問い合わせください。万一部品欠品などがありましたら弊社カスタマーサービスにまでご連絡ください。

## &lt;販売元&gt;

株式会社 フカヤ

〒460-0015 愛知県名古屋市中区大井町 1-37-3F

Phone: (052) 228-8910

Fax: (052) 228-8917

Web: [www.fukaya-nagoya.co.jp](http://www.fukaya-nagoya.co.jp)

## &lt;製造元&gt;

株式会社 箕浦

〒503-2312 岐阜県安八郡神戸町下宮 134-1

Phone: (0584) 27-3131

Fax: (0584) 27-7505

Email: [infodesk@minoura.jp](mailto:infodesk@minoura.jp) (カスタマーサービス)[minoura@minoura.jp](mailto:minoura@minoura.jp) (営業)Web: [www.minoura.jp](http://www.minoura.jp)

日本製

## 注意していただきたいこと



ハブ幅 100mm の、一般的な 9mm クイック式の前フォークに加え、12mm・15mm のスルーアクスル式前フォークに対応しています。それら以外のサイズにはブーストハブも含めて適合していません。



乗車中は無理に自転車を左右に振らないでください。ダンシングには対応していません。前フォークがクイックから外れて転倒したり部品を破損させてしまうおそれがあります。



フォークスタンドはトレーニング中の動きに追従するため多少前後に動くようには作ってありますが、お使いの自転車に合わせたホイールベース調整は、必ずフォークスタンドが直立に最も近くなる取付位置にしてから行なってください。3本ローラー時に既に合わせてあれば、そのまま装着してください。



フローティング機能を実現するため、前フォーク受け下側にあるイモネジ（頭のないねじ）は完全には締め込んでありません。意図的に緩めた状態にとどめてあります。これを根本まで締め込んでしまうと、せっかくのフローティング機能が働かなくなってしまいます。



フォークスタンドのフレームを位置決めする爪は、しっかりと固定ピンに差し込んで固定してからお使いください（図8）。中途半端に浮いた状態で使用すると、突然外れて転倒してしまうおそれがあります。



フォークスタンドを前に倒した状態で通常の3本ローラーとして使っている最中も、フォークスタンドはただ倒すだけでなく、しっかりとロック位置に押し込んで固定しておいてください。押し込んでいないと、万ノブと前ローラーとの間にできる大きな隙間に前輪がはまり込んでしまったとき、急激に前輪がロックされることで、落車や破損などの大きなアクシデントに至るおそれがあります。

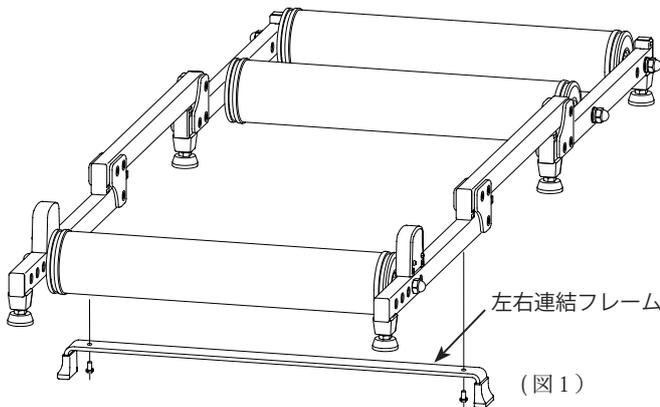
## フォークスタンドの組み付け方

必要な工具： 10mm ソケットレンチ、17mm スパナ

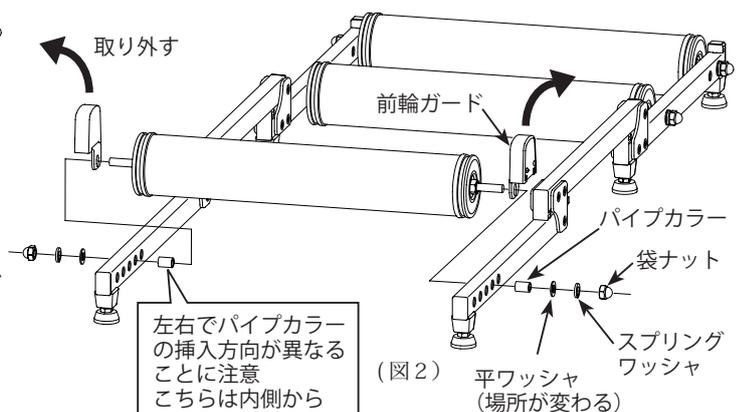
### 前輪ガードが装着されている場合

フォークスタンドを装着する前に、前輪ガードを取り外す必要があります。

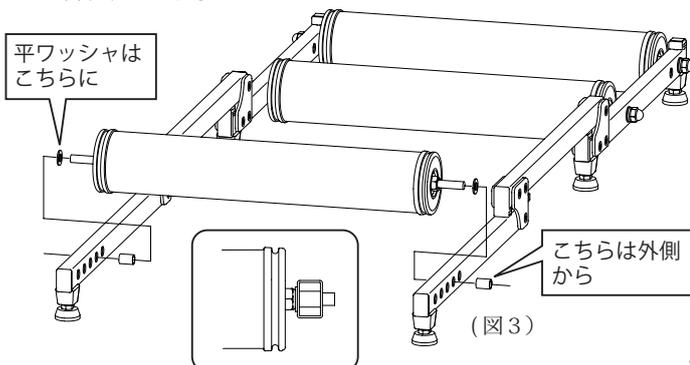
- 1** フレーム下にある左右連結フレームを 10mm ソケットレンチでねじ 4 本を外して取り外します。



- 2** これで前フレームを広げて前ローラーを取り外す準備ができます。17mm スパナで袋ナットを緩め、前ローラーを取り外しつつ前輪ガードを抜き取ります。



- 3** もう一度前ローラーを前フレームに戻します。先ほどは外側に使っていた平ワッシャをローラーシャフトに先に通し、パイプカラーをフレームに挿入します。



- 4** 前フレームを広げて、ローラーシャフトを孔に通していきます。前ローラーがローラーベルトをくぐっていることを確認してください。

- 5** 連結フレームを止める金具は前フレームの角パイプの中にあります。中を滑らせて根本に持ってきます。

- 6** 前フレーム下側の孔と金具のねじ孔とを合わせ、4本のボルトで左右連結フレームを取り付けます。

## 前輪ガードが装着されていない場合

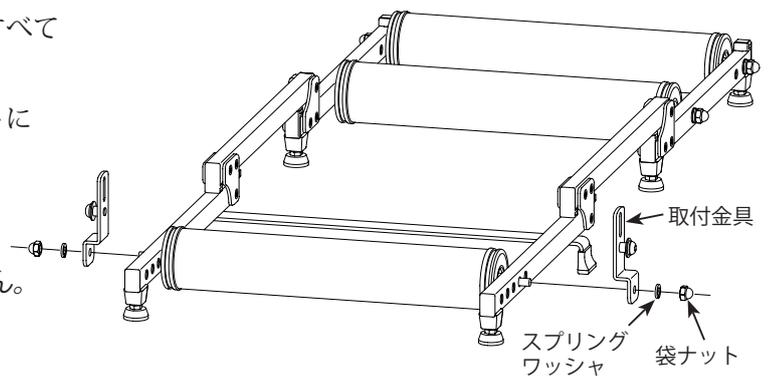
ローラーと前フレームとの間の平ワッシャは初めから入っています。

- 7** 前ローラーを止めている袋ナットとワッシャをすべて取り外し、平ワッシャだけ抜きます。

フォークスタンド取付金具を前ローラーシャフトに取り付けます。  
袋ナットとスプリングワッシャだけで止めます。

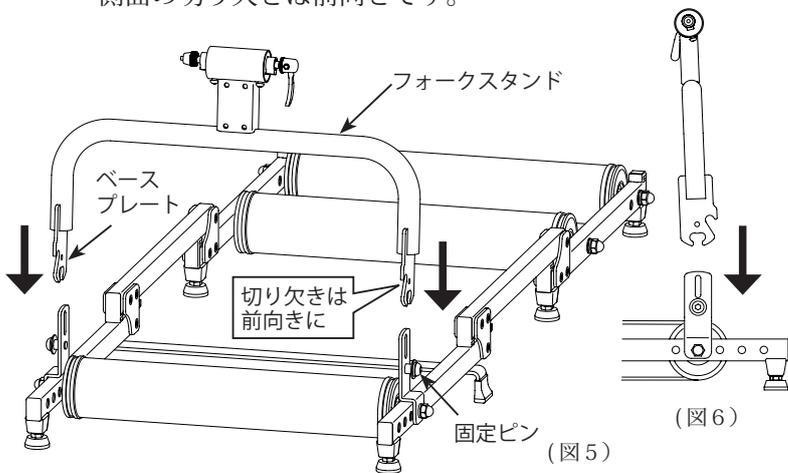


ここで取り外した平ワッシャは使用しません。  
別途保管しておいてください。



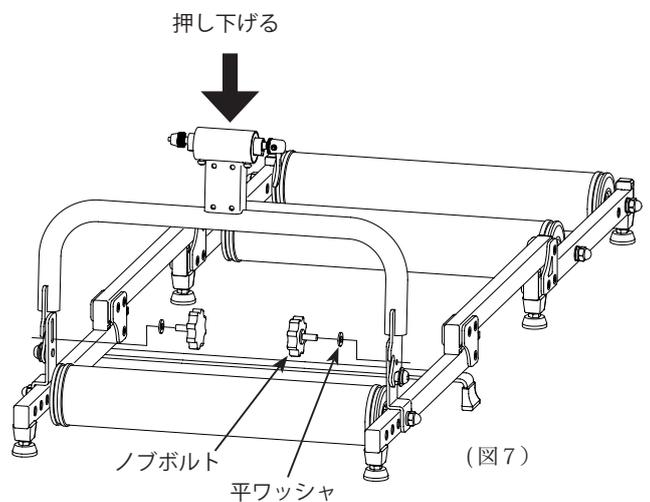
(図4)

- 8** 取付金具にフォークスタンド本体を取り付けます。フォークスタンド下にあるベースプレート下端の下向きの切り欠きを、固定ピンにいっぱいに入れます。(図6)  
側面の切り欠きは前向きです。



(図6)

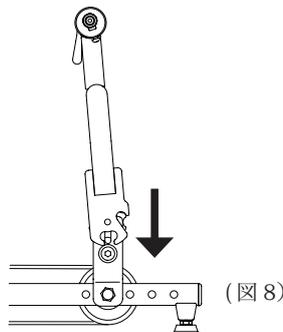
- 9** フォークスタンド全体を押し下げながら、平ワッシャを通しておいたノブボルトを、本体の内側からベースプレートのねじ孔にねじ込みます。(図7)



(図7)

## 自転車の取り付け方

- 1** フォークスタンド内側のノブボルトを少し緩め、スタンドを起し、下側切り欠き部を取付金具の固定ピンにいっぱいに入してから(図8)、ノブボルトを仮締めします。

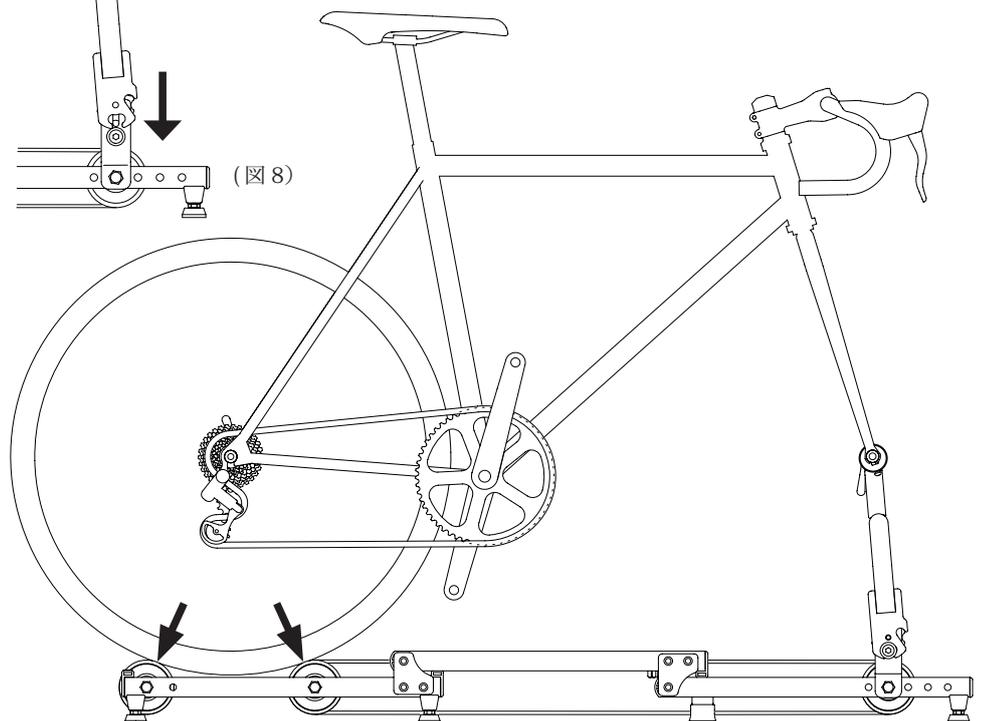


まだ本締めしません。

- 2** 前フォークを前フォーク受けに取り付けます。

- 3** 後輪が中・後ローラーの両方に同時に当たるようフォークマウントの傾きを調節して自転車の位置を決めます。(図9)

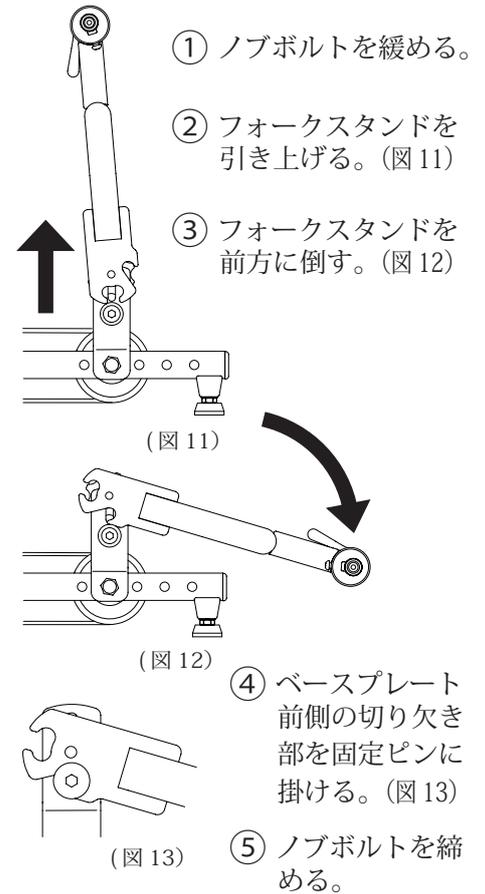
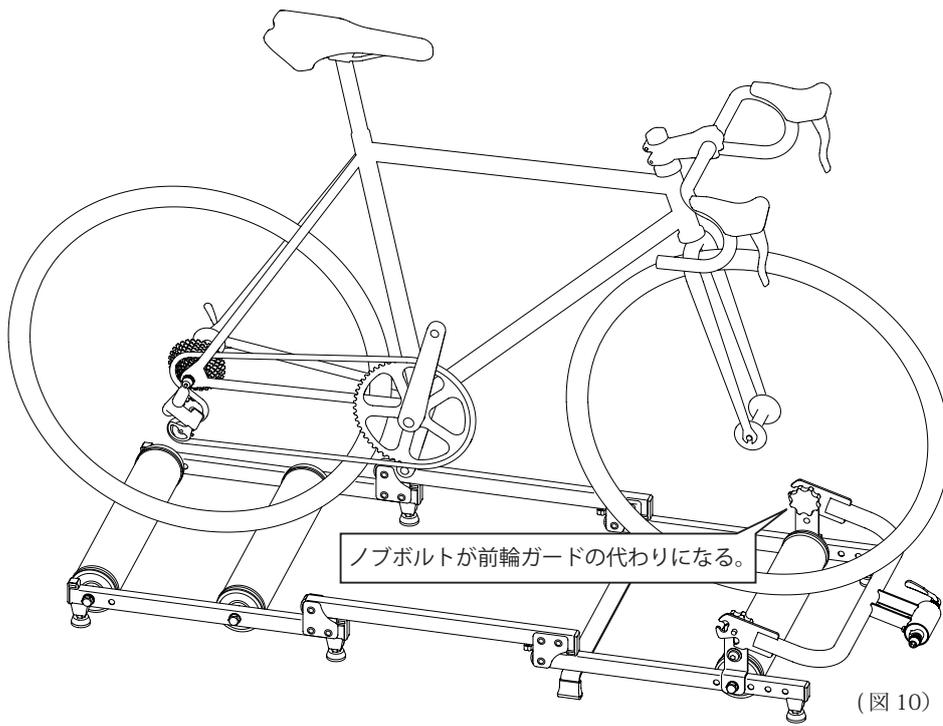
- 4** ノブボルトをしっかりと締め付けて固定します。



(図9)

## フォークスタンドの倒し方

使用しないときには、邪魔にならないよう前方に倒しておくことができます。



## クイックのサイズ別合わせ方 必要な工具： 3mm 六角レンチ

モッズローラー用フォークスタンドは、以下の3つのサイズに適合します。

### 9mm クイックの場合 (標準)

前フォーク受けのレバーを開き、必要に応じてナットを緩め、そのまま前フォークを差し込んで、レバーを閉じて締めます。

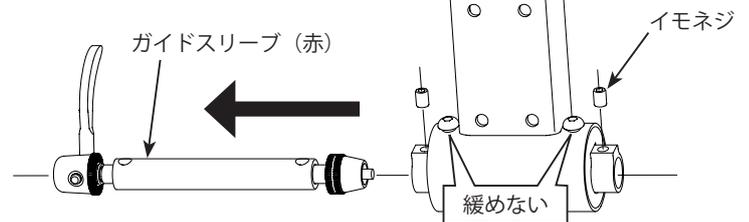


前フォーク受け下側のイモネジが緩んでしまうと、9mm クイック用のめっきパイプがずれてしまい、前フォークを正しく受けられなくなり、脱落して落車したり自転車を破損させてしまうことがあります。

めっきパイプはフォーク受けから左右均等に出ていることを確認し、イモネジを3mm 六角レンチで締めてパイプを固定してから、自転車を装着して使用ください。

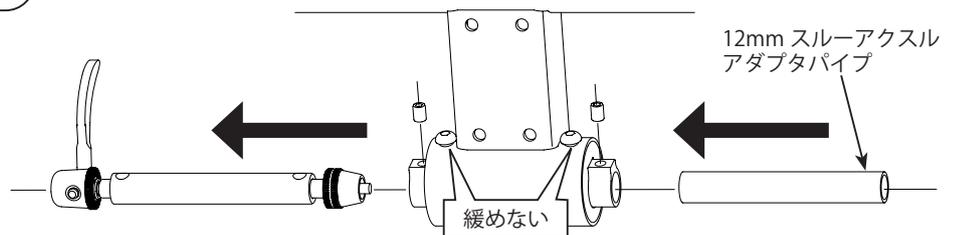
### 15mm スルーアクスルの場合

前フォーク受け下側のイモネジを抜き取り (隣のボタンボルトは緩めない)、組み付けてあるクイックを赤いガイドスリーブごと抜き取ります。自転車の 15mm スルーアクスルを通し、前フォークを取り付けます。



### 12mm スルーアクスルの場合

前フォーク受け下側のイモネジを緩め (隣のボタンボルトは緩めない)、組み付けてあるクイックを赤いガイドスリーブごと抜き取ります。続いて付属の 12mm スルーアクスルアダプタパイプを通し、イモネジを軽く締めて保持し、その中に自転車に付属の 12mm スルーアクスルを通しながら前フォークを取り付けます。



アダプタは軟らかいアルミパイプなので、イモネジは強くは締めないでください。アダプタが変形し 12mm スルーアクスルが通せなくなってしまう可能性があります。軽く保持させるだけで十分です。